

2013年

No.98

発行者

社会福祉法人健康の森学園

発行責任者 真鍋 衛 施設長

〒718-0313

岡山県新見市哲多町大野2034-5

TEL 0867-96-2995 FAX 0867-96-2998

すずらん



稲穂

農福連携

理事長 岡田 壽

厳しい暑さが続いた今年の夏でしたが、利用者の皆さんは、園内に広がる畑や水田、牧場、林間のほだ場などで、担当する作業に真剣に向かい合っていました。そこで流した汗の結晶が、この秋の豊かな実りをもたらしているのだと思います。

本学園では、開園以来一貫して農業を訓練科目としてきました。豊かな自然の中での作物の栽培や家畜の飼育は、携わる利用者の皆さんの優しさや思いやりの心、体力や根気強さ、丁寧な最後までやり遂げる責任感など、地域社会での生活に必要な基礎的な力を伸ばすことができるからです。これまでも多くの利用者の皆さんが、園内の作業訓練の習熟にあわせて実施する事業所等での実習を経て雇用され、社会の一員として活躍しております。畜産や園芸など農業に関連する事業所にも数名が就職しております。

いわゆる新体系への移行に伴い、林産班は、就労継続支援事業所になりました。ここでは、高品質のしいたけ栽培、米の生産と加工、薪や炭の生産など、一部に六次産業化も取り入れながら、生産物の売り上げ拡大を意識した働く場としての性格を鮮明にした経営に取り組んでいます。

近年我が国の農業は、中山間地域はもちろん都市近郊においても従業者の高齢化や後継者不足により担い手の減少が急速に進んでおり、深刻な社会問題となっております。そのような中、全国各地で農業分野の事業所や農家で、障害者就労の取り組みが広がりをみせており、農業と福祉の新たな連携「農福連携」として注目されております。

本学園でも、このような動向を参考にしながら、地域の農業等との連携を意識した就労移行や就労継続を支援する取り組みをはじめております。林産班の作業訓練の一部に、地域の農家の水稲栽培の請負やしいたけの植菌作業の手伝い、養鶏場でのグループ実習（施設外就労）などを取り入れ、この地域の基幹産業でもある農業との関わりを深めようとしております。これらの活動が、利用者の皆さんの働く力の向上や働く場の拡大につながるとともに、地域の農業振興にわずかでも貢献できることは意義深いことと思います。

農福連携事業を進める上では、園内の作業との調整や指導者の確保など、工夫が必要ではありますが、利用者の皆さんの地域で自立した生活ができることを支援する取り組みの一つとして、さらに充実したものになることを願っております。

第13回岡山県 障害者スポーツ大会

第13回岡山県障害者スポーツ大会が行われ、学園からフライングディスク、陸上競技、フットベイスポールに多くの利用者が参加しました。全員一生懸命に取り組み、今年も多くの利用者が入賞しました。



野点交流会

6月15日、宿泊交流棟で野点(のだて)交流会が行われました。毎年、この時期に、新見新翠会の十数名が来園され、全員の利用者との交流を深めるため、野点をして下さっています。施設利用者、職員、新見新翠会のみなさんと会話を弾ませながら煎茶を味わい、和やかな時を過ごしました。



宿泊学習

7月11日、12日にかけて今年も利用者の希望により1泊2日の大阪方面へのバス旅行を実施しました。初日はマイカップヌードルファクトリーで、オリジナルのカップヌードルを作りました。カップにマジックでイラストを描き、カップの中の具材も自分で選びました。また、交通科学博物館では、新幹線や電車、自動車、飛行機などの展示物を見学したり、実際に



乗ったり、触ったりすることが出来ました。2日目は、ユニバーサルスタジオジャパンで、担当ごとに分かれてそれぞれのアトラクションを楽しんだり、お土産を買っていました。



夏の集い

今年も楽しい2日間を過ごすことができました。

8月10日、保護者会行事による夏の集いが行われました。施設と学校の保護者が中心となり、焼きそば、焼き鳥、焼きトウモロコシ、フライドポテト、フランクフルト、いか焼きを販売しました。また、カラオケ大会、盆踊りが行われ、学園生、保護者、職員、地域住民の交流の場となり、楽しい夏のひとときを過ごすことが出来ました。最後に、花火も打ち上げられ、とてもきれいでした。



平成25年度手をつなぐ育成会 岡山県大会(浅口大会)

8月25日 平成25年度手をつなぐ育成会岡山県大会(浅口大会)が開催されました。

この日は低気圧の影響で雨がたくさん降って地域によっては警報も出ていましたが、参加者は雨の中、会場(里庄総合文化ホール)へ集まりました。

新見友情の会(本人の会)役員5名も本人大会「広げよう！友達の輪を浅口で！」に参加して、3グループに分かれて話し合いをしました。生活について・仕事について・本人の会活動について等の内容で話し合いが行われ、それぞれが発言をして意見を出しあいました。

仕事をしていたことが良かったことや困ったことと人間関係の難しさ、現在の生活場所・休日の過ごし方、将来の夢、本人の会の活動などたくさんの方の意見がありました。



全国椎茸品評会

平成25年全国乾椎茸品評会がコンベックス岡山（岡山市）で開催されました。今年は、初めて岡山県での全国大会開催ということので力を入れて取り組んできた結果、先の岡山県大会では県知事賞受賞、全国大会でもこうしん中葉厚肉の部で、きのこセンター理事長賞（第4位）

を獲得しました。椎茸栽培に携わっている就労継続支援事業所のみなさんも来年は、全国大会でさらに良い賞をねらいたいと意欲を高めています。



第三者委員会

7月19日、平成25年度第1回の第三者委員会が開催されました。初めに職員行動規範について、サービスマン評価について等の話をしました。それぞれの悩みについてよいアドバイスを頂き、利用者の方は、「聞いてもらって良かった。すっきりした。」と話をされていました。

運動会

晴天の下、「心いっぱい、体いっぱい」をテーマに9月14日に第23回健康の森学園運動会が開催されました。施設の園生は、保護者と共に綱引きを行ったり、施設全園生によるリレー競技、大玉送りの競技に組みました。紅白対抗による応援合戦では、施設利用者の団長を中心に振り付けを考え、明るく楽しく元気に踊りました。園生たちは、最後まで一生懸命に演技・競技しました。



サービス向上委員会

平成24年度 苦情受け付け状況

- ◎他の利用者に対するもの……………13件
 - ・ビデオを占領して使う人がいる
 - ・他生が悪口・文句を言ってくる
 - ・他生がうるさい 等
- ◎職員に対するもの……………8件
 - ・職員の言葉遣いが悪い
 - ・厳しい言い方をする

岡山県G・H C・H入居者交流会及び世話人等研修会に参加して

9月14、15日に岡山国際ホテルで入居者交流会及び世話人等研修会が行われ参加しました。1日目は動物園、プラネタリウムの見学コースに参加しました。他のグループホームの女の子と一緒に見学しました。プラネタリウムは初めて見てきれいでした。夜の懇親会では、お酒を飲みながらカラオケをしたりして大いに盛り上がっていました。2日目は、休日何をしてすごしているか、仕事についてグループで話し合いをしました。他のグループホームの人と意見交換できてよかったです。来年も参加したいと思います。（参加利用者）



- ・時に話を聞いてほしい 等
 - ◎相談・要望……………4件
 - ・部屋にテレビをつけてほしい 等
 - ◎寮内の環境……………4件
 - ・網戸に穴が開いているので修理してほしい 等
 - ◎グループホームの環境
 - ・隣の人うるさくて眠れない 等
- ※受け付けた苦情については、それぞれに話し合っ解決したり、改善したりすることができています。

入所・退所された利用者

入所者

榎本 晃治さん (4月) 支援学校より
高田 祐樹さん (4月) 支援学校より
植原 郁斗さん (4月) 支援学校より
松森 昌平さん (4月) 支援学校より
早瀬 洋子さん (5月) 津山市より
小川 陽子さん (4月) つつじ憩いの家

退所者

縄 浩明さん (4月) 100万回のサアーたいへんへ
福見 彰人さん (4月) かけはし作業所
浅田圭一郎さん (4月) 吉備の里へ
藤井 千鶴さん (4月) 自宅へ
小山由香梨さん (6月) ひかり学園へ

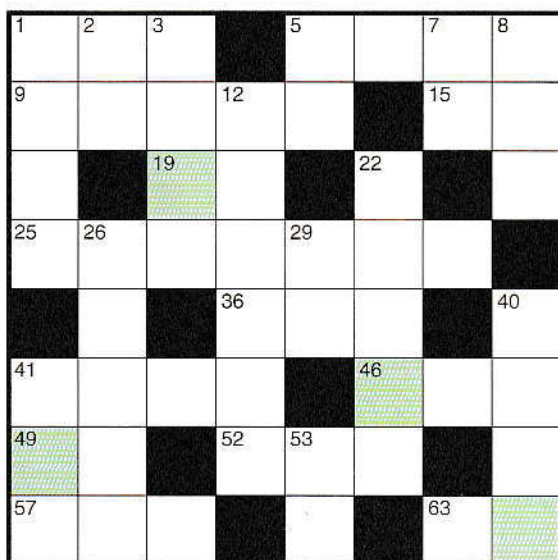
入所者の声

ぼくは、岡山西支援学校を卒業しました。岡山西支援学校を卒業して健康の森に入りました。さいしよは、作業とか生活になれなかったです。でも、がんばって作業とか生活になれました。いま作業がんばっているのは、ぼくそう、土入れ、えさやり、たまごみがきです。ぼくの目標は健康の森で作業がんばって一人ぐらしできるようにがんばりたいです。

榎本 晃治

クロスワード

緑色のマスに、言葉が隠されています。うまく並べて、1つの単語にしてください。



タテのかぎ

- ①ギリシアの民族集団又は地名（歴史）
- ②アメリカ南西部にある国。首都はサンティアゴ
- ③金泥（きんでい）などで絵を描いてある壺つきの椀。
- ⑤その方面での第一人者。
- ⑦武道における攻撃の1つで、手ないし長い柄のあるもので突くこと
- ⑧婚姻によって親戚の関係になった家。
- ⑫音楽で、五線譜に書き込み高音部であることを示す記号。Gの文字を図案化したもの
- ⑭中部地方北西部にあり、石川県、岐阜県、滋賀県、京都府と隣接する地方自治体
- ⑯その用途に対して最も良い条件を備えている土地。
- ⑰比喩的に、自分の世界を外界と隔て守るものをいう。
- ⑱ゴルフで、ボールをたたくヘッドの部分が金属製のクラブ。
- ⑲ある時よりあと、ずっと。
- ㉓数え年70歳の祝い

ヨコのかぎ

- ①一つの集まり・会合。一度会うこと。「一期〇〇」
- ⑤一昨日（主に西日本での言い方）
- ⑨糖類のうち、構成単糖類の分子数が2個ないし10個ぐらゐのものの総称（少糖類とも）
- ⑮元素記号Au、原子番号79、原子量196.96655の元素
- ⑲〇〇心あれば水心あり
- ㉔中国、清王朝帝室の姓。
- ㉖よくない傾向
- ㉘かわいいと思う子供。大切にしている子供。
- ㉚特に中世において、統治の中心から遠く離れ、支配の力が及ばない場所・地域をさす。しばしば未開、野蛮といった意味合いを含む
- ㉜言語学における統語論の用語で、名詞・形容詞・動詞など単なる文法機能以外に独自の意味をもつ語によって選択されている要素
- ㉞熱帯アジア原産のショウガ科の多年草。秋に花茎の先に、淡緑色の苞（ほう）に包まれた黄色の花を開く。
- ㉟人前ではきはきしない、気の弱い性質。
- ㊱考え。思いつき。アイデア。

編集後記

9月に家族で遊園地へ行きました。37歳にして、初めてジェットコースターに乗りました。今まで怖いという先入観で、乗ることをためらっていましたが、子供の後押しもあって、遂に挑戦してみました。乗ってビックリ！楽しかったこと以上に、強烈な達成感。新しいことに挑戦することは、大きな勇氣と労力を要するので躊躇しがちですが、成し遂げた時の喜びは計り知れません。この挑戦する気持ちを、仕事にも繋げていきたいものです。

K・I